



日本一早い豆まきで厄除け

# 市職員の給料等の状況を公表します



**1 人件費の状況 (普通会計決算) 平成26年度**

住民基本台帳人口 (年度末)	歳出額A	実質収支	人件費B	人件費率 (B/A)	25年度の人件費率
人	千円	千円	千円	%	%
44,895	17,221,745	820,928	2,356,500	13.7	14.7

(注) 人件費には特別職に支給される給料、報酬等を含む。

**2 職員給与費の状況 (普通会計決算) 平成26年度**

職員数 (A)	給与				1人あたり給与費 (B/A)
	給料	職員手当	期末勤勉手当	計 (B)	
人	千円	千円	千円	千円	千円
272	1,010,267	109,983	375,306	1,495,556	5,498

(注) 1. 職員手当には退職手当を含まない。 2. 職員数は平成26年4月1日現在の人数である。

**3 職員の平均給料月額及び平均年齢の状況 (平成27年4月1日現在)**

区分	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	311,200円	40.8歳

**4 職員の初任給の状況 (平成27年4月1日現在)**

区分	下妻市初任給	
	大学卒	高校卒
一般行政職	174,200円	142,100円

**5 一般行政職の級別職員数の状況 (平成27年4月1日現在)**

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	計
標準的な職務内容	主事	主事	係長主幹	課長補佐係長主査	課長補佐	次長課長	部長	
職員数	31人	25人	104人	31人	28人	11人	8人	238人
構成比	13.0%	10.5%	43.7%	13.0%	11.8%	4.6%	3.4%	100%

(注) 下妻市職員の給与に関する条例に基づく給料表の級区分による職員数。

**6 期末手当・勤勉手当の状況 (平成26年度支給割合)**

区分	期末手当	勤勉手当
6月期	1.225月分	0.675月分
12月期	1.375月分	0.825月分
合計	2.60月分	1.50月分

※役職加算 5~15%

**7 退職手当の状況 (平成27年4月1日現在)**

区分	自己都合	勤奨・定年
勤続20年	20.445月分	25.55625月分
勤続25年	29.145月分	34.5825月分
勤続35年	41.325月分	49.59月分
最高限度	49.59月分	49.59月分

※定年前早期退職特例 2~20%加算

**8 特別職等の給料・報酬等の状況 (平成27年4月1日現在)**

区分	給料月額等	期末手当	備考
給料	市長	747,000円	(平成26年度支給割合) 6月期 期末手当から = 1.40月分
	副市長	603,000円	左記の市長 20%
	教育長	567,000円	副市長 10%
報酬	議長	420,000円	合計 3.10月分
	副議長	380,000円	を減額している。
	議員	360,000円	

(注) 給料月額等は給料等の削減後の額。

**9 部門別職員数の状況 (各年4月1日現在)**

区分		職員数		対前年増減数	
		平成26年	平成27年	平成26年	平成27年
一般行政部門	議会	5	5	0	0
	総務	76	76	△2	0
	税務	30	31	0	1
	民生	39	39	1	0
	衛生	23	22	0	△1
	農林水産	24	24	0	0
	商工	7	7	0	0
	土木	24	24	1	0
特別行政部門	教育	45	44	△2	△1
	水道	8	8	0	0
公営企業等部門	下水道	7	7	0	0
	その他	31	31	0	0
合計		319	318	△2	△1

(注) 1. 職員数は一般職に属する職員数であり、平成26年度は教育長を含み、平成27年度は教育長を除く。 2. 地方公務員の身分を保有する休職者、派遣職員などを含み、臨時又は非常勤職員を除く。

**10 職員数の推移 (各年4月1日現在)**

部門別	年度					過去5年間の増減数 (率)
	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	
一般行政	240	228	228	228	228	△12 (△5.0%)
教育	47	47	47	45	44	△3 (△6.4%)
公営企業等会計	48	46	46	46	46	△2 (△4.2%)
総合計	335	321	321	319	318	△17 (△5.1%)

(注) 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数であり、平成26年度までは教育長を含み、平成27年度からは教育長を除く。

## 温かい善意ありがとうございます

### 小中学校、市役所庁舎へシクラメン鉢植え寄贈

市内鎌庭で鉢花などを育てている石井匡之亮さんから1月14日、シクラメンの鉢植え30鉢を寄贈いただきました。鉢植えは市内各小中学校へ2鉢ずつと、市役所本庁舎3鉢、同千代川庁舎3鉢が配布され、市民の目を楽しませています。



シクラメンの鉢植えを前に、左から石井さん、稲葉市長 (市役所本庁舎・市長室で)

宗任神社で1月11日、「日本一早い豆まき」が行われ、氏子や参拝者が一足早く豆をまいて厄払いし、家内安全などを願いました。旧暦の1月11日に行っていた追儺祭が、西暦を使うようになってからもそのままの日付で行われてきたことから日本一早い豆まきとして知られるようになりました。

この日は祈祷が行われる中、恒例の宝まきも行われ、近隣住民や少年野球チームの子どもたちでにぎわいました。同神社を訪れた人たちは、神社をめぐって商品券が当たる「せつぶんスタンプラリー」にも興味を示し、社務所でスタンプを押す姿が見受けられました。



宝まきに来る参拝者



婚活でまちを元気にしようと、地域の魅力を生かして縁結びプロジェクトを実践する下妻青年会議所・まちづくり委員会の八木下聡委員長からのお便りを紹介します。

昨年11月28日、下妻青年会議所は砂沼広域公園で、地域の魅力の発信と定住人口の増加につながる婚活「しもつまdeキメキwalkラリー婚」を開催しました。参加者は男性30人と女性30人。晴天に恵まれた砂沼広域公園を舞台に、男女3対3の10グループに分けて、地域に関するさまざまな問題を解いていくウォークラリーを行うなど、アトラクションを交えて初対面の緊張を解いていきました。当青年会議所が誇るNAKOUDO(仲人)が会話のサポートをしながら、参加者同士の距離を縮めていきました。

その後、観桜苑の芝生広場で飲食ブースを出し、地域の味覚、飲物を味わってもらいながら、グループ単位で席を移動し会話するお見合い回転movementを行い、気に入った異性との1対1のフリートーク。ファイナルステップは、マッチングカードに気に入った異性の名前を記入してから、恋愛スポット砂沼大橋(愛の架け橋)で結果を発表しました。

なんと結果は9組ものカップルが誕生する確率の高い婚活イベントになり、結ばれた2人には砂沼大橋の愛

## 縁結びプロジェクトで、まちを元気に!!

の神話を伝え、クリスマスカラーで綺麗なLEDが灯る砂沼大橋を、手をつないで渡ってもらいました。

そして、今年は下妻JC縁結びプロジェクト第3弾として、「桜舞う花より男子 続・下妻婿取物語」を4月3日(日)に開催を予定しています。婿に来てほしい女性と婿に行ってもいい男性をターゲットに、大宝八幡宮での恋愛成就祈願から、憩遊館(八千代町)にバス移動して地域の味覚BBQを堪能してもらい、最後は砂沼大橋でのマッチングを企画しています。より多くの地元の男女に交流から結婚に続く出会いの場を創出することで、定住人口の増加につなげ、まちを元気にしていきたい。桜が見ごろの季節に、地域のおいしい食材を使ったBBQで会話も自然に盛り上がると思いますが、より会話が盛り上がるようNAKOUDOもサポートします。マッチングカップルが前回よりも増えるよう我々も一致団結し精一杯盛り上げていきますので、お気軽にご参加ください。



観桜苑の芝生広場でフリートークする参加者(11月28日)

有料広告欄